

令和2年6月22日に産業建設委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

報告事項

・お持ち帰りDEお得券の状況について

～内容～

お持ち帰りDEお得券事業の概要及び現在の利用状況等について報告を受けました。

～質疑～

問：取扱店舗が139店舗とのことだが、この事業がすべての飲食店の売上げに貢献していると考えているのか。

答：この券が多く利用されている店舗とそうでない店舗の差は確かにあると感じている。券の使用できる店舗の情報発信をSNS等を活用してPRに努めたい。ホームページ等は、この事業が終わっても何らかの形で残していき、発信、広報につなげていきたい。

・新型コロナウイルス感染症に関する企業緊急アンケートについて

～内容～

新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響等を把握するため、市内の事業所に対して実施した企業緊急アンケートの結果について報告を受けました。

～質疑～

問：持続化給付金や雇用調整助成金について、申請から給付までに時間がかかっていると聞くが、市内の企業の状況はどうか。

答：雇用調整助成金については、ハローワークへの聞き取りによると、4月から6月12日までの状況で、申請している事業者が57社で、2,100人が休業対象になっており、市内の事業者については、スムーズに対応できていると聞いている。持続化給付金については、オンライン申請のため正確な数字は把握できないが、アンケート結果によると、申請したとの回答が107件あった。商工会議所、商工会へも確認したところ、申請から最短で6日程度で入金されている状況であり、特に苦情等は聞いていない。

問：今後先行きが見えない新型コロナウイルス感染症の影響で、新しい生活様式のもとに事業が存続できるかどうかといったところを踏み込んで確認する必要があると考えるがどうか。

答：今後は外出の自粛の要請が解除されて経済の回復の期待が持たれている飲食業、宿泊業等もあるが、先がまだ見えない製造業や個人事業主の方の回復状況も見えていない状況であるため、引き続き状況を注視しながら支援策に結びつけていきたい。